

# 平和と人権ウィーク

## ベルギー館 @ 2025年日本国際博覧会

日曜日

8月3日



15:30 – ジェンダーニュートラル・ファッショショニー

テキスタイルやシルエットを通してジェンダー表現を探求する、エキスポ2025の革新的な制服を紹介するランウェイ・パフォーマンス。服がいかにアイデンティティを表現する力を持つかをライブで体験。出演：カトリーン・テイス（ベルギーパビリオン）含む各国パビリオンのデザイナーが参加します。

月曜日

8月4日



14:30 – 西岡英子「バイアス習慣を断つためには？」

大阪大学 ダイバーシティ&インクルージョンセンター教授、副センター長

16:30 – パネルディスカッション：「ジェンダー・尊厳・社会的包摶」

登壇者：西岡英子、小西美穂、シャルロット・ペズリルほか

火曜日

8月5日



17:00 – ウクライナ・ナショナルデー：「戦争の中の女性（アーティスト）」

紛争下で、またはその影響を受けながら創作を続けるウクライナの女性アーティストたちの声に耳を傾けるパネル。破壊の中で、創り、語り、代表するということの意味とは？

19:30 – アンドウ・デスポート（ウクライナ人アーティスト）

水曜日

8月6日



14:30 – AI倫理専門家 ヘールトライ・ミーケ・デケテラーレ「デジタル・ロボトミー：AIチャットボット時代における人権保護」

AIが、その開発者の価値観のみを反映する世界になったら、何が起きるのか？

16:30 – パネルディスカッション：「ガラスの天井を破る」

登壇者：ローリー・ピーターズ、ナンシー・ゴードン、キャロリン・デヴィッドソン、ラファエラ・ブロフト、広岡敦子

木曜日

8月7日



14:30 – ダリラ・ハーマンス「見られること、黙らされること：ベルギーで有色人女性として生きる」

ベルギーで有色人種の女性として生きるとは。ダリラ・ハーマンスが、自身の体験をもとに鋭く語ります。

16:30 – イシュ・アイト・ハム「1か2の理論」

多様性とは何か？それが偏って存在するときに、どのように機能するのか？

金曜日

8月8日



14:30 – ヤエル・ナゼ「天文学における女性たち」

宇宙を測り、彗星を発見し、天文学の常識を塗り替えた女性たちの物語。

16:30 – パネルディスカッション：「STEM分野と男性中心社会に生きる女性たち」

登壇者：ヤエル・ナゼ、皆川朋子、他ゲスト登壇予定

17:30 – ジャウアド・アルル「ウォーキング・ホーム」

モロッコ系ベルギー人でクィアである彼のアイデンティティをめぐる旅路

ザ・ジョイ・オブ・ビーイング：文化プログラムは別日程でご案内しています。